



古墳天井に星が輝く

—キトラ天文図

1998年3月、奈良県明日香村のキトラ古墳で、石室天井に星が金箔であらわされた天文図が発見され、マスコミも大々的に報道して、大きな関心を集め、私が分析に当たりました。

古墳の中に星が描かれている例は、中国や古代朝鮮半島の高句麗（現在の北朝鮮から中国東北部）には多いですが、日本では、やはり明日香村にある高松塚との2例しか発見されていません。この2つの古墳は西暦700年前後の飛鳥時代に築かれたもので、中国で生まれた星座が描かれています。

最近、この古墳の近くに展示館「四神の館」が完成したのを機に、この天文図についてお話しします。



朝鮮王朝・木版天象列次分野之図
(個人蔵)



韓国・慶州の新羅時代の瞻星台

2016/12/24(土)

14:30~16:00

入場無料 / 予約不要

- 神山天文台 地下1階 サギタリウスホール にて開催
- 小学生以上の方対象 (中学生程度の理科・歴史の知識を持っていることが望ましい)

講師



宮島一彦氏 (前・同志社大学 教授 / 中之島科学研究所 研究員)

1946年、大阪生。2012年、同志社大学理工学研究所を定年退職。現在、同学理工学部嘱託講師・中之島科学研究所研究員。満5歳の時、天文学に興味を持ち、小学3年生の時、中国の歴史に興味を持つ。専門は東アジア天文学史。

主催 京都産業大学 神山天文台

後援 京都市教育委員会

- その他
- ・講座終了後には「アストロノミー・カフェ」(16:00~17:30)を開催します。お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。
 - ・夜間は通常通り天体観望会を開催いたします (18:00~20:00)
※悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催

問合せ 京都産業大学 神山天文台

☎075-705-3001 🌐 <http://www.kyoto-su.ac.jp/kao/>